



No.	工程名	工 程 内 容	注意点	確認原票
		脱脂剤が完全に蒸発（除去）していることを確認してください。		
4	オイルゲージの取付	<p>新しいオイルゲージ(打込み式オイルゲージ+鋳物ブッシュ) を手で止まるまでねじ込みます。</p>  		

No.	工程名	工程内容	注意点	確認原票
		<p>引掛けピンスパナ（<math>\phi 36</math> をカバーできるサイズ）を外径側面にある穴に差し込み、締付けます。締付け力は手元荷重で2~4kgが目安です。</p>   <p>（写真はゲージ付きではありません）</p>		

青木精密工業株式会社

No.	工程名	工程内容	注意点	確認原票
		<p>締付けは、ゴムパッキンの状態で判断してください。</p> <p>&lt;締付け不足&gt;</p>  		

No.	工程名	工 程 内 容	注意点	確認原票
		<p data-bbox="488 309 644 338">&lt;締付け可&gt;</p>  <p data-bbox="564 757 1023 837">ゴムパッキンの外周が膨らみ出ている状態。弾性力が発生しています。</p>  <p data-bbox="564 1541 1023 1666">上の写真より締付け力を上げるとゴムパッキンは外径方向へ逃げます。写真を限度としてください。</p>		

青木精密工業株式会社

No.	工程名	工 程 内 容	注意点	確認原票
5	ドレンプラグの 取付	仮締めしていたドレンプラグを取り外してください。		
		プラグとねじ穴を掃除・脱脂してください。		
		プラグねじ部に配管テープを巻いてください。		
		プラグをねじ込んでください。		
6	オイル注入	各規定量をオイルジョッキなどに入れてください。		
		漏斗などを使用してエア抜き穴から注入してください。 粘度があるため一気には入りません。ゆっくりと注入してください。		
		オイルゲージでオイルレベルを確認しながら、ゲージ中心を狙ってください。 オイルは内部部品にからんでいますので落ち着くまで約5分程度放置してください。 ゲージ中心からやや上(2/3)でのオイルレベルで落ち着きましたら、エア抜きを取付けてください。		
7	経過観察	半日から一日の間、オイルゲージからの油漏れがないか運転せずに経過をみていただくことをお奨めします。 時間がない場合でも30分の経過はみてください。		